みずほマーケット・トピック(2025年10月22日)

高市政権発足を受けて~粘着的なリフレ期待~

高市政権が発足した。政局不透明感の払しょくを理由として、日経平均株価は公明党の連立離脱(や米国の地銀不安)で暴落した分を全て戻している一方、円安や円金利上昇は決して加速しているわけではなく膠着状態。あくまで副総裁として麻生氏が睨みを利かせ、鈴木前財務大臣が幹事長に就くなど従前予想された通り「麻生派による良識的なブレーキ」が作用している様子。もっとも、10月4日の高市総裁選出を受けて発生した円安・金利上昇が全て巻き戻っているわけでもない。「高市政権≒リフレ政策≒円安・金利上昇」という期待は依然色濃いのかもしれない。リフレ期待は粘着的である。実際、連立後も少数与党ゆえに、拡張財政圧力は残るはずである。片山さつき氏の財務大臣就任を円高材料と見なす向きもあるようだ。しかし、通貨・金融政策の方向性を修正した程度で、言い換えれば、財務大臣が交代した程度で状況を打開できるほど円安相場の根は浅いものではないというのが筆者の基本認識である。

~リフレ政策へのブレーキは限定的か~

昨日、衆参両院の本会議で自民党の高市早苗総裁が第104代首相に指名された。女性の首相 就任は初めてとなる。既報の通り、今後は自民・維新連合として政権運営が始まることになる。政局 不透明感の払しょくを理由として、日経平均株価は公明党の連立離脱(や米国の地銀不安)で暴 落した分を全て戻している一方、円安や円金利上昇は決して加速しているわけではなく膠着状態 にある。あくまで副総裁として麻生氏が睨みを利かせ、鈴木前財務大臣が幹事長に就くなど従前 予想された通り「麻生派による良識的なブレーキ」が作用している様子は見受けられる。

もっとも、10 月 4 日の高市総裁選出を 受けて発生した円安・金利上昇が全て巻 き戻っているわけでもない(図)。「高市政 権 ≒ リフレ政策 ≒ 円安・金利上昇」という 期待は依然色濃いようにも見受けられ る。麻生派や維新の存在がリフレ政策の ブレーキになるという見方はある程度正 しそうだが、あくまで「ある程度」という受 け止めが有力である。民主党政権から第 二次安倍政権への交代が起きた時ほど 極端なマクロ経済政策の修正は起きそう



にないものの、「維新との連立で高市カラーは抑制される」という思惑もそれほど強いものにはなっていないようだ。

現時点の第一印象として、リフレ期待が粘着的なものになっていると感じる。

これは両党の合意文書からも読み取れる。合意文書では財政政策の基本姿勢について「責任ある積極財政に基づく効果的な官民の投資拡大を進めつつ、肥大化する非効率な政府の在り方

の見直しを通じた歳出改革を徹底することによって、社会の課題を解決することを目指す」と明記されている。これは自民党(高市総裁)の「責任ある積極財政」と維新の「非効率な政府の在り方の見直しを通じた歳出改革を徹底」を結合させた急造の文章という印象が拭えない。政権が窮地に追い込まれれば、世論を懐柔する目的から給付や減税といった目先の財政拡張に傾斜する恐れは十分あるだろう。その際、維新がそれを跳ねつけるほど財政健全化に強い思いを抱いているのか。確信は持てない。それは事後的にしか判定できないはずだが、「"効果的な投資"だから良いのだ」という方便で拡張財政に踏み込まれる可能性も否定できない。

そもそも少数与党ゆえに政策選択の自由度も狭小である。自民・維新連合でも衆議院では 465 議席中 231 議席、参議院では 248 議席中 120 議席を押さえるにとどまっており、それぞれ過半数 まで 2 議席、5 議席不足している。首班指名がそうだったように、無所属議員を取り込めた場合に限 って、ぎりぎりの意思決定が可能になるという厳しい戦況は続く。結局、法案を通す過程で野党の 要求を取り込み、気づけば放漫財政を強いられるという展開に至る公算は大きいと言わざるを得な い。だからこそ、円安や金利上昇は大きく修正されていないのではないのか。

~片山財務大臣への期待について~

片山さつき氏の財務大臣就任を円高材料と捉える向きもあるようだ。確かに、片山氏の過去の発言を踏まえると、そのような解釈は分からなくもない。例えば今年3月、自民党金融調査会長として受けたロイターとのインタビューにおいて片山氏は為替市場について以下のように発言していた:

- 120 円台の時期が長かったので、120 円から 130 円、120 円台が実力との見方が多い
- 物価高の沈静化に向け円高進行が望ましい。
- (円高方向への誘導手段として)為替介入はきっかけにはなるが、長期的には効果があまり大きくないので、根本的な対策が必要

さすがに「120 円台の時期が長かったから 120 円台が実力」は暴論であり、恐らく片山氏の本当の問題意識とは乖離がある(インタビューでは把握できていない部分がある)と察する。しかし、物価高対策としての円高の有用性や円安抑止策としての円買い介入の限界性を認める発言からは、片山氏が決してリフレ思想に傾倒した人物ではないことを裏付けているように思える。

では、<u>為替介入の効果を限定的として、その必要性を指摘する「根本的な対策」とは何か</u>。当該インタビューでは少額投資非課税制度 (NISA) の税制優遇拡充案として高齢者が日本株を長期保有した場合に相続税を一部免除する案などに言及があり、「日本株を長期保有することのメリットをつくっていきたい」と明言している。いわゆる、NISA 運用において国内資産に対する優先枠を設定することで海外資産購入に伴う円売りを抑制する案が想起されるが、果たして円安抑制の文脈でこの案を口にしたのかどうかは定かではない。関連の続報を期待して待ちたい論点である。

こうした過去の情報発信に基づき、潜在的なリフレ期待が根強い高市政権において、片山財務 大臣が少なくとも円安相場をけん制する「壁」になるのかどうかは注目されそうである。しかし、話は そこまで単純ではないだろう。昨年、神田前財務官主催の懇談会が耳目を引いたように、国際収支 構造の変容は日本経済が直面する重要な事実の1つであり、それに付随する副作用の1つが「外

2025年10月22日 2

貨稼得能力の低下」だったはずである。そのような事実が円安の底流にあるとすれば、通貨・金融 政策の方向性を修正した程度で、言い換えれば、財務大臣が交代した程度で状況を打開できるほ ど円安相場の根は浅いものではないと考えられる。本欄や「中期為替相場見通し」では、財務大臣 人事をもって見通しの水準や方向性を修正することまでは考えていない。

国際為替部

チーフマーケット・エコノミスト 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065) daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

2025年10月22日 3

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です http://www.mizuhobank.co.ip/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.ip/forex/econ.backnumber.html

2002年10月1日	http://www.mizuhobank 発行年月日	s.co.ip/forex/econ.html (Archives) http://www.mizuhobank.co.ip/forex/econ.backnumber.html 過去6か月のタイトル
2005年(10) 17日		
2005年10月15日 スピーデンアドモデカンアドングーキシアが開発を作用 スポーダンアドモデカンア スポーダー ス		
2005年10月15日 スピーデンアドモデカンアドングーキシアが開発を作用 スポーダンアドモデカンア スポーダー ス	2025年10月16日	
* 本所信人投資者の分析資金200~10月12日 (大学 日本) 大学 (大学 (大学) 大学 (大学)		
2005年10月10日 2005年10月12日 2005年10月12日 2015年10月12日 2015年10日 2015年10月12日 2		
2002年10月1日 1972.20.7.2015.2 - 01.7.2015.2015.2015.10.201	2025年10月14日	「貧すれば多党化」〜欧州化する日本政治〜
2003年10月1日	2025年10月10日	
2025年19月1日 京日春年年度年にカニーリド甲華	2025年10月9日	フランスリスクはユーロリスクに発展するか?
2005年10月2日	2025年10月8日	利上げを助ける高市トレード
2025年1月1日	2025年10月7日	史上最高値を更新したユーロ/円相場
2025年の月1日 2025	2025年10月6日	
2025年9月1日 12-14 以来を表達の名の関係という時代	2025年10月3日	週末版(外貨準備構成通貨の近況について(2025年6月末時点))
2005年9月2日 日本版画	2025年10月2日	
2005年9月24日 ユーロの参軸監督性を再考する・少数40年 100年 11世紀 11世紀 11世紀 11世紀 11世紀 11世紀 11世紀 11世	2025年10月1日	
2025年9月12日 日本版		
2005年9月19日 日本版学 POMO 学校 1 で		
2025年9月18日 FOMOFéRAT で 可提生される結正性影響		
2005年9月18日 日産無敗未決定を含か了ビューへ自動生、数がずー 2005年9月18日 大野島人民産党の対力を受けて、一部に2005年9月19日 大野島人民産党の対力を受けて、一部に2005年9月19日 大野島人民産党の対力を受けて、一部に2005年9月19日 日本教育人では、対して、日本ののでは、日本		
2025年9月10日 日来教育大臣は同学的の総方・1-2つの信命・ 本有像人校理の外を食ごつ (2025年9月10日)		
2005年9月11日 本野県人投資家の対外資金クロ一動向1200年9月分		
2025年3月10日 知念年代日本 1987年 1987		
2025年9月18日 東京・全貞東い事政 海外からの財政リスタ相等~ 2025年9月28日 別・対文を見からいたいない。	2025年9月12日	
2005年9月10日 用金管側につても変わらから2006年 現才を開くても変わらから2006年 現才を開くても変わらから2006年 現才を開く2006年 日本を開く2006年 日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	0005/70 811 8	
2025年9月9日 数点性報になっても「東からあ3つの論血」 2025年9月9日 数点対象で変いの使用の意見を担当しています。		
2025年9月8日		
2025年9月3日 第三年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二年 第二		
2025年9月28日 選汇(利上げ再開)の長しも出始かたEB		
2025年9月3日		
2025年8月26日		
2025年8月21日 今季比平の世景が大小で大の歌声の		
2025年8月28日		
2025年8月22日		
2025年5月20日 A-0月期、採田離札の原稿や「ロケーター 2025年5月16日 医例の外交成果が喧闹見えた米霞首協会領 2025年5月16日 医例の外交成果が喧闹見えた米霞首協会領 2025年5月16日 東海県人食業家の対外党会とは国籍はの意や「海外・国内」のローテーションはあるか?~) 2025年5月16日 エクル・トランプは政論へ参しまい。最後は「東田内の世界と、アルトリーターとのでは、アルトリーのでは、アルトリーのでは、アルトリーのでは、アルトリーのでは、アルトリーので		
2025年8月19日 上 早期のFの面影報類についてへ密書館向〜 2025年8月19日 末析程人投資家の対外資金フロー動向(2025年月分)		
2025年8月16日 本村優人投資家の対外資金フロー動向(2025年月月) 2025年8月14日	2025年8月19日	上半期の円の需給環境について~改善傾向~
2025年8月14日	2025年8月18日	欧州の外交成果が垣間見えた米露首脳会談
2025年8月14日 ニクソント・ランブ比較論~の点は野稚園の管理コスト」	2025年8月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年7月分)
2025年8月18日		
2025年9月12日 過剰反応すべきではないFRB人事の影響力 2025年9月18日 次に既なた関係の影響へ展開熱熱の流み方~ 2025年9月18日 返出版に関係の影響へ展開熱熱の読み方~ 2025年9月19日 近米版に関係の影響へ展開熱熱の読み方~ 2025年7月29日 近来版に日親会会を終えて、事は完全に構れずも10月利上げが境野に~) 2025年7月29日 対米投資利益の報果へ同の命略もも30回を除へ 2025年7月29日 対米投資利益の報果へ同の命略もも30回を除へ 2025年7月21日 対米投資利益の報果へ同の命略もも30回を除へ 2025年7月21日 大田俊文からの意としいいて・日様のの影響か~ 2025年7月21日 世界販を決める意とついて・日様のの影響か~ 2025年7月21日 世界販を決める意とついて・日様のの影響か~ 2025年7月18日 西来版「日報プレビューペー制門の国内政法、後門の米国政治 では、本邦観人投資家の別外資金フロー動向(2025年7月18日 西来版・フスションク再考・販資財性と否のす~ 2025年7月19日 近米版・フスションク再考・販資財性と否のす~ 2025年7月19日 近米版・フスションク再考・販資財性と否のす~ 2025年7月19日 近米版・フスションク再考・販資財性と否のす~ 2025年7月19日 近米版・フスションク再考・販資財性と否のす~ 2025年7月19日 近米版・フスションク再考・販資財性と否のす~ 2025年7月19日 近米成の現状・原型・日本売りの材料になる政治~ 2025年7月19日 近米成の現状・原型・日本売りの材料になる政治~ 2025年7月19日 近米成の現状・原型・日本の計算による日安・日接の計算による日安・日接の計算による日安・日接の計算による日安・日接の計算による日安・日接の計算による日安・日接の計算による日安・日接の計算による日安・日接の影響へ 2025年7月19日 近米成の上の手に表しましましましましましましましましましましましましましましましましましましま	2025年8月14日	ニクソン・トランプ比較論~争点は「覇権国の管理コスト」~
2025年8月8日 選手販及房の評価~妥協か、英斯か~ 2025年8月4日 選手販力に関係の影響~展用統計の誘わ方~ 2025年8月4日 選手販付に関係会を終えて一葉は完全に壊れずも10月利上げが視野に~ 10205年7月31日 10月秋に日報会を終えて一葉は完全に壊れずも10月利上げが視野に~ 10月秋に日報会を終えて一環が出来しまれる状況に~ 10月秋に日報会を終えて一環が出来しまれる状況に~ 10月秋に日報会を終えて一環が出来しまれる状況をから 2025年7月28日 2025年7月28日 2025年7月28日 2025年7月28日 2025年7月28日 2025年7月29日		
2025年8月1日 選末版(日銀会を終えて〜業は完全に踏れずも1月利上げが複野に〜) 2025年3月1日 2025年3月1日 2025年3月1日 2025年3月12日 2025年3月29日		
2025年3月4日 選ぶ日北た関税の影響〜雇用総計の読み方〜 2025年7月31日 フルター 「米国動出、の検証・5月11日 通大版(日銀会合を終えてへ事業に完全に増加する。 2025年7月28日 フルター 「米国動出、の検証・5月11 虚力表量との意味を加え、 フルター フルター 「米国動出、の検証・5月1 虚力表量との意味を加え、 フルター フルター フルター フルター フルター フルター フルター フルター		
2025年3月1日		
2025年7月31日 FOMCを終えて、年末以降、第末に厄介な状況(~ 2025年7月22日 大製資利益の機能へ1981年の表示点人~ 対米投資利益の機能へ1990年のたれる」の意味へ 2025年7月23日 本版(EOB政策理事金を終えて、6月)の北状定数からず~) 2025年7月23日 世米関形交渉の合意について、日間への影響かり~ 2025年7月23日 世米関形交渉の合意について、日間への影響かり~ 2025年7月21日 日米間をラック・2025年7月21日 日米間をラック・2025年7月16日 日本版・ラスショック展考・施頭性は6めず~ 2025年7月16日 日本版・ラスショック展考・施頭性は6めず~ 2025年7月16日 日本版・ラスショック展考・施頭性は6めず~ 2025年7月16日 日本版・ラスショック展考・選集性を考える~ 2025年7月16日 日本版・ラスショック展考・選集性を考える~ 2025年7月16日 日本版・ラスショック展考・選集性を考える~ 2025年7月16日 日本版・ラスショック展考・選集性を考える~ 2025年7月17日 日本版・日本表・日本表・日本表・日本の前は2025年7月19日 日本版・日本の課金・日本表・日本の前は2025年7月19日 日本版・日本の課金・日本表・日本の前は2025年7月19日 日本の課金・日本表・日本の前は2025年7月19日 日本の課金・日本の書・日本の書・日本の書・日本の書・日本の書・日本の書・日本の書・日本の書		
2025年7月28日 米投資料益の条照で、1909歳から、2005年7月28日 対果版(ECB政策理事会を終えて、6月から状況変わらず~) 2025年7月28日 対果版(ECB政策理事会を終えて、6月から状況変わらず~) 2025年7月28日 対果版(ECB政策理事会を終えて、6月から状況変わらず~) 2025年7月28日 対果版(日銀文)中の一部門の国内政治、後門の米国政治(「2025年7月18日 日本版トラスショツの馬考・選男性ときのぎ~ 2025年7月18日 日本版トラスショツの馬考・選男性ときのぎ~ 2025年7月18日 日本版トラスショツの馬考・選男性ときのぎ~ 2025年7月19日 日本版トラスショツの馬考・選男性ときのぎ~ 2025年7月19日 日本版とラスショツの馬考・選男性ときのぎ~ 2025年7月19日 日本版とラスショツの馬考・選男性ときのぎゅう/ 日本政治の現状と展望の参加・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール・ロール		週末版(日銀会合を終えて〜霧は完全に晴れずも10月利上げが視野に〜)
2025年7月28日 対大投資利益の解釈へ「90%取られる」の意味〜 2025年7月23日 日米開税交渉の合衆について一日銀への影響あり〜 2025年7月18日 日米開税交渉の合衆について一日銀への影響あり〜 2025年7月18日 日本版トラスショング再考~微異性を表で一型の「2025年7月18日 日本版トラスショング再考~微異性を考えで一型の「2025年7月18日 日本版トラスショング再考~微異性を考えで一型の「2025年7月18日 日本版トラスショング再考~微異性を考える〜 2025年7月18日 日本版トラスショング再考・微異性を考える〜 2025年7月18日 日本版トラスショング再考・微異性を考える〜 2025年7月18日 日本版トラスショング再考・微異性を考える〜 2025年7月19日 日本版・ラスショング再考・の要素を考える〜 2025年7月19日 日本版・フスショングー・観め「2025年7月19日 日本成立の現状と原堂の上中・競りに(2025年7月19日 日本成立の現状と原堂の上中・競りに(2025年7月19日 別たり機管対となる円安~日間の中断は〜 2025年7月3日 日本で、日本学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学		
2025年7月25日 実際にCOB安理事金を終えて~6月から状況変わらず~) 2025年7月22日 参院選を終えて~8月から保護を担いて、		
2025年7月23日 日来開校交渉の合意について〜日報への影響あり〜 2025年7月18日		
2025年7月12日 参院選を終えて〜現状上展望の整理〜 2025年7月16日 日本版トラスショック再考・現実味を考える〜 2025年7月16日 日本版トラスショック再考・現実味を考える〜 2025年7月16日 日本版トラスショック再考・現実味を考える〜 2025年7月16日 日本版トラスショック再考・現実味を考える〜 2025年7月17日 日本規一投資業の対外資金フロー国向(2025年6月分) 日本政治の現状上展望〜日本売りの材料になる政治〜 2025年7月18日 温末版 2025年7月18日 日本版・日本売りの材料になる政治〜 2025年7月18日 日本版・日本売りの材料になる政治〜 2025年7月18日 関発する家計の投資意効とその今後 2025年7月1日 財産がする家計の投資意効とその今後 2025年7月1日 フジェア月1日 東京版 2025年7月1日 フジェア月1日 東京版 2025年7月1日 日本版 2025年7月1日 日本のの・日本の・日本の・日本の・日本の・日本の・日本の・日本の・日本の・日本の		
2025年7月18日 国本版トラスションク馬書・融資性に否めず~ 2025年7月15日 日本版トラスションク馬書・融資性に否めず~ 2025年7月16日 日本版トラスションク馬書・融資性に否めず~ 本邦職人投資家の対外資金フロー動向12025年6月分) 日本版化の現状と展望~日本売りの材料になる政治~ 2025年7月10日 国本版 2025年7月10日		
2025年7月16日 日本版トラスションク馬考・地環峡を考える〜 2025年7月16日 本形個人投資家の対外資金フロー動向(2025年6月分)		
2025年7月15日 日本版トラスショツ9再考~現実味を考える~ 2025年7月16日 本籍組入投資家の対外資金フロ一動向(2025年6月分) 日本政治の現状と展望・日本売りの材料になる政治~ 2025年7月1日 別求の緩衝材となる円安~日鏡の判断は~ 2025年7月1日 別状の緩衝材となる円安~日鏡の判断は~ 2025年7月1日 別報の緩衝材となる円安~日鏡の判断は~ 2025年7月1日 別報の緩衝材となる円安~日鏡の判断は~ 2025年7月1日 初本版 2025年7月1日 初本版 2025年7月1日 初本版 2025年7月1日 初本版 2025年7月1日 初本版 2025年7月1日 初本版 2025年7月1日 日報と、日本版 2025年7月1日 日本に、日本版 2025年6月26日 (別本版 日本版 日本版 日本版 日本版 日本版 日本版 日本版 日本版 日本版 日		
2025年7月11日		
日本政治の現状と展望~日本売りの材料になる政治~ 2025年7月10日 週末版 2025年7月10日 週末		
2025年7月1日 週末版 2025年7月9日 閲択の疑問材となる円安~日銀の判断は~ 2025年7月9日 閲択の疑問材となる円安~日銀の判断は~ 2025年7月9日 閲求の議覧材となる円安~日銀の判断は~ 2025年7月7日 物価高対策を巡る不可思議~王道は利上げ~ 2025年7月3日 男末版 2025年7月2日 ペーカーの場所は一 2025年7月2日 ペーカーの場所は一 2025年7月2日 ペーカーの場所は一 2025年7月2日 ペーカーの場所は一 2025年7月2日 ペーカーの場所は一 2025年7月2日 ペーカーの場所は一 2025年6月21日 パーカーの場所は一 2025年6月21日 パーカーの場所は一 2025年6月21日 パーカーの場所は一 2025年6月21日 パーカーの場所は一 2025年6月21日 アルーカーの場所の関係的自律~ 2025年6月21日 別かれてのが観察の4月に起きていたこと~ 2025年6月21日 日東東安といルアルールの関係の自律~ 2025年6月21日 日東東安といルアルールの関係の自律~ 2025年6月21日 日東東安といルアルール・アルール・アルール・アルール・アルール・アルール・アルール・アルー	2020-777111	
2025年7月10日 追い詰められているのは米国も一橋~TACOの前提~ 2025年7月8日 閉花の緩衝材となる円安~日銀の判断は~ 2025年7月8日 常寿する家計の投資意欲とその今後 2025年7月8日 オーターのでは、	2025年7月11日	
2025年7月9日 関税の緩衝材となる円安〜日銀の判断は〜 2025年7月7日 膠着する家計の投資意欲とその今後 2025年7月7日 膠着する家計の投資意欲とその今後 2025年7月7日 漫画高対策を巡る不可思議〜王道は利上げ〜 2025年7月2日 週末版 2025年7月2日 ⊿末版 2025年7月2日 4ンフレ適応が続く家計、論観強まる若年世代 2025年6月27日 25年上期レビューペー「欧州の強さ」と「円の弱さ」〜 2025年6月27日 25年上期レビューペー「欧州の強さ」と「円の弱さ」〜 2025年6月27日 水田離れ」は本当なのか〜4月に起きていたこと〜 2025年6月28日 「米田離北」は本当なのか〜4月に起きていたこと〜 2025年6月29日 日立ってきた日本の高ペンフレと中東リスクへの不安 2025年6月29日 貴かれなかった「べき」論〜優しさの代償は?〜 2025年6月20日 貴かれなかった「べき」論〜優しさの代償は?〜 2025年6月13日 本部優人投資家の対外資金フー・動向(2025年5月分) 週末版(支持の後巻スマベドル)・円相場への影響〜円売り優勢〜 2025年6月13日 井郷会大が、川瀬落相場の背景〜米国主導ではなぐ他国主導に〜) 2025年6月11日 日銀会合プレビュー〜「もう関与しない」を示す時〜 2025年6月11日 所の基礎的需給環境について〜暴落後の挙動〜 2025年6月11日 新しい対内直投目標の誘み方へ「骨太の方針」〜 2025年6月11日 新しい対内直投目標の誘み方へ「骨太の方針」〜 2025年6月1日 本版(集びも多下)・「大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大阪・大		
2025年7月8日		
2025年7月7日 物価高対策を巡る不可思議~王道は利上げ~ 2025年7月2日 週末版 2025年7月2日 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3月 3		
2025年7月4日 週末版 2025年7月2日		
2025年7月2日		週末版
2025年6月21日 週末版		
2025年6月27日 週末版		
2025年6月26日		
2025年6月25日		
2025年6月24日 衰えないスイスフラン〜欧州資産へのローテーション〜 2025年6月28日 目立ってきた日本の高インフレと中東リスクへの不安 2025年6月18日 貫かれなかった「ぺき」論〜優しさの代償は?〜 2025年6月18日 東新媛(FOMCを終えて〜ドル/円相場への含意〜) 2025年6月18日 東邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年5月分) 過末版(変わるドル周落相場の背景〜米国主導ではなく他国主導に〜) 2025年6月12日 日銀会合プレビュー〜「もう関与しない」を示す時〜 2025年6月11日 円の基礎的需給環境について〜暴落後の挙動〜 2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方〜「骨太の方針」〜 2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方〜「骨太の方針」〜 2025年6月6日 週末版(ECB政策理事会を終えて〜利下げ局面の終わり?〜) 2025年6月6日 ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月2日 医CB政策理事会プレビュー〜利下げは当然視できる?〜 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版バミルトン・モーメント 2025年5月29日 歴EPA違法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月29日 懸念通りの米EU交渉〜日本との違い〜 2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について〜空調に潜むリスク〜) 2025年5月21日 所会人がよりの音位陥落〜24年末対外純資産について〜 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談30〜争点化する自動車〜 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談30〜争点化する自動車〜		
2025年6月23日 目立ってきた日本の高インフレと中東リスクへの不安 2025年6月20日 週末版 (FOMCを終えて〜ドル/円相場への含意〜) 2025年6月18日 貫かれなかった「べき」論〜優しさの代償は?〜 2025年6月16日 中東事変とドル/円相場への影響〜円売り優勢〜 2025年6月13日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向 (2025年5月分) 週末版 (変わるドル凋落相場の背景〜米国主導ではなく他国主導に〜) 2025年6月12日 日銀会合プレビュー〜「もう関与しない」を示す時〜 2025年6月11日 円の基礎的需給環境について〜暴落後の挙動〜 2025年6月11日 円の基礎的需給環境について〜暴落後の挙動〜 2025年6月1日 円の基礎的需給環境について〜年金運用への注文?〜 2025年6月6日 周末版 (ECB政策理事会を終えて〜利下げ局面の終わり?〜) 2025年6月4日 ユーロ圏5月消費者物価指数 (HICP) の読み方 2025年6月2日 区B政策理事会でレビュー〜利下げは当然視できる?〜 2025年6月2日 欧州再軍債と欧州版ハミルトン・モーメント 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落〜24年末対外純資産について〜 2025年5月28日 銀末版 (ユーロ相場の現状について〜空調に潜むリスク〜) 2025年5月21日 原本版(ユーロ相場の現状について〜空調に潜むリスク〜) 2025年5月21日 源素ペッセント会談30〜争点化する自動車〜 2025年5月11日 未国債格下げの影響〜急性的ではなく慢性的〜		
2025年6月20日 週末版(FOMCを終えて~ドル/円相場への含意~) 2025年6月18日 貫かれなかった「べき」論~優しさの代償は?~ 2025年6月18日 中東事変とドル/円相場への影響~円売り優勢~ 2025年6月13日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年5月分) 週末版(変わるドル凋落相場の背景~米国主導ではなく他国主導に~) 2025年6月12日 日銀会合プレビュー~「もう関与しない」を示す時~ 2025年6月11日 円の基礎的需給環境について~暴落後の挙動~ 2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方~「骨太の方針」~ 2025年6月9日 為替政策報告書を受けて~年金運用への注文?~ 2025年6月6日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利下げ局面の終わり?~) 2025年6月4日 ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版ハミルトン・モーメント 2025年5月29日 IEEPA遠法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について~壁調に潜むリスク~) 2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について~壁調に潜むリスク~) 2025年5月21日 赤澤ベッセント会談30~争点化する自動車~ 2025年5月21日 未国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年6月18日 貫かれなかった「べき」論~優しさの代償は?~ 2025年6月16日 中東事変とドル/円相場への影響~円売り優勢~ 2025年6月16日 中東事変とドル/円相場への影響~円売り優勢~ 2025年6月12日 日銀会合プレビュー~「もう関与しない」を示す時~ 2025年6月12日 日銀会合プレビュー~「もう関与しない」を示す時~ 2025年6月11日 円の基礎的需給環境について~暴落後の挙動~ 2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方~「脅太の方針」~ 2025年6月9日 海散 策略告書を受けて~年金運用への注文?~ 2025年6月8日 週末版(ECB 放策理事会を終えて~利下げ房面の終わり?~) 2025年6月3日 エーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月3日 ECB 放策理事会を終えて~利下げは当然視できる?~ 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版バミルトン・モーメント 2025年5月29日 IEEP A違法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月28日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月21日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0~争点化する自動車~ 2025年5月19日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年6月16日 中東事変とドル/円相場への影響~円売り優勢~ 2025年6月13日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年5月分) 週末版(変わるドル凋落相場の背景~米国主導ではなく他国主導に~) 2025年6月12日 日銀会合プレビュー~「もう関与しない」を示す時~ 2025年6月10日 肝の基礎的需給環境について~暴落後の挙動~ 2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方~「骨太の方針」~ 2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方~「骨太の方針」~ 2025年6月10日 瀬丘いが内直投目標の読み方~「骨太の方針」~ 2025年6月11日 内の基礎的需給電機・HICP)の読み方 2025年6月11日 ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月2日 ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月2日 医CB政策理事会プレビュー~利下げは当然視できる?~ 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版バミルトン・モーメント 2025年5月29日 IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月28日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月28日 駅かん エーロ場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月21日 赤澤ベッセント会談30~争点化する自動車~ 2025年5月19日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年6月13日 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2025年5月分) 週末版(変わるドル凋落相場の背景~米国主導ではなく他国主導に~) 2025年6月12日 日銀会 プレビュー~「もう関与しない」を示す時~ 2025年6月11日 円の基礎的需給環境について~暴落後の挙動~ 2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方~「骨太の方針」~ 2025年6月10日 熱量が、1000円のでは、1000円の		
週末版(変わるドル周落相場の背景~米国主導ではなく他国主導に~) 2025年6月11日 日銀会合プレビュー~「もう関与しない」を示す時~ 2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方~「骨太の方針」~ 2025年6月9日 為替政策報告書を受けて~年金連用への注文?~ 2025年6月6日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利下げ局面の終わり?~) 2025年6月4日 ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月3日 ECB政策理事会プレビュー~利下げは当然視できる?~ 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版バミルトン・モーメント 2025年5月29日 IEEPA遠法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月29日 慰念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月28日 週末版(ユーロ相場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月21日 赤澤ベッセント会談3.0~争点化する自動車~ 2025年5月21日 未国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年6月12日 日銀会合プレビュー~「もう関与しない」を示す時~ 2025年6月11日 円の基礎的需給環境について~暴落後の挙動~ 2025年6月9日 新しい対内直投目標の読み方~「骨太の方針」~ 2025年6月6日 過末版(ECB政策理事会を終えて~利下げ局面の終わり?~) 2025年6月6日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利下げ局面の終わり?~) 2025年6月3日 エーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月3日 ECB政策理事会プレビュー~利下げは当然視できる?~ 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版バミルトシ・モーメント 2025年5月29日 IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月26日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月26日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月27日 明金利上昇と為替相場について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談30~争点化する自動車~ 2025年5月19日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年6月11日 円の基礎的需給環境について~暴落後の挙動~ 2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方~「骨太の方針」~ 2025年6月9日 為替政策報告書を受けて~年金運用への注文?~ 2025年6月6日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利下げ局面の終わり?~) 2025年6月3日 エーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月3日 ECB政策理事会プレビュー~利下げは当然視できる?~ 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版バミルトン・モーメント 2025年5月29日 IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月28日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月28日 別表版(ユーロ相場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0~争点化する自動車~ 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0~争点化する自動車~	2025年6月12日	
2025年6月10日 新しい対内直投目標の読み方~「骨太の方針」~ 2025年6月6日		
2025年6月9日 為替政策報告書を受けて~年金運用への注文?~ 2025年6月6日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利下げ局面の終わり?~) 2025年6月4日 ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月3日 ECB政策理事会プレビュー~利下げは当然視できる?~ 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版ハミルトン・モーメント 2025年5月29日 IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月29日 懇奈通りの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月28日 懇奈通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について〜堅調に潜むリスク~) 2025年5月23日 ア金利上昇と為替相場についての所感 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0~毎点化する自動車~ 2025年5月21日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年6月6日 週末版(ECB政策理事会を終えて~利下げ局面の終わり?~) 2025年6月4日 ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月3日 ECB政策理事会プレビュー~利下げは当然視できる?~ 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版バミルトン・モーメント 2025年5月29日 IEEFA遠法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月26日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月26日 別未版(ユーロ相場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月21日 円金利上昇と為替相場についての所感 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0~争点化する自動車~ 2025年5月19日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年6月4日 ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方 2025年6月3日 ECB政策理事会プレビュー~利下げは当然視できる?~ 2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版ハミルトン・モーメント 2025年5月29日 IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月26日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月27日 週末版(ユーロ相場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月27日 円金利上昇と為替相場についての所感 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0~争点化する自動車~ 2025年5月19日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年6月2日 欧州再軍備と欧州版ハミルトン・モーメント 2025年5月29日 IEEPA遺法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月26日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月22日 円金利上昇と為替相場についての所感 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0~毎点化する自動車~ 2025年5月21日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~	2025年6月4日	ユーロ圏5月消費者物価指数(HICP)の読み方
2025年5月29日 IEEPA違法判決はゲームチェンジャーになるか? 2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月26日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月22日 円金利上昇と為替相場についての所感 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0~争点化する自動車~ 2025年5月19日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年5月28日 34年ぶりの首位陥落~24年末対外純資産について~ 2025年5月26日 懸念通りの米EU交渉~日本との違い~ 2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月22日 円金利上昇と為替相場についての所感 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0~争点化する自動車~ 2025年5月19日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年5月26日 懸念通りの米EU交渉〜日本との違い〜 2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について〜堅調に潜むリスク〜) 2025年5月22日 円金利上昇と為替相場についての所感 2025年5月21日 赤澤ペッセント会談3.0〜争点化する自動車〜 2025年5月19日 米国債格下げの影響〜急性的ではなく慢性的〜		
2025年5月23日 週末版(ユーロ相場の現状について~堅調に潜むリスク~) 2025年5月22日 円金利上昇と為替相場についての所感 2025年5月21日 赤澤ベッセント会談3.0~争点化する自動車~ 2025年5月19日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年5月22日 円金利上昇と為替相場についての所感 2025年5月21日 赤澤ベッセント会談3.0〜争点化する自動車〜 2025年5月19日 米国債格下げの影響〜急性的ではなく慢性的〜		
2025年5月21日 赤澤ベッセント会談3.0~争点化する自動車~ 2025年5月19日 米国債格下げの影響~急性的ではなく慢性的~		
2025年5月19日 米国債格下げの影響〜急性的ではなく慢性的〜		
ZUZ3年3月10日		
	2025年5月16日	
週末版	<u> </u>	<u>澳</u> 个III